

おひさま広場

2025年 12月号(月1回発行)

あつという間に師走の時期ですね。

それでも冬期間は、暖かい日もあり、園庭では、園児が元気に走りまわりあそんでいます。

おひさま広場でも 天気がいい日は、外での時間も楽しめたらと思っています。冬時期は、インフルエンザ等感染症も流行ります。体調に気をつけながら、子どもも大人も楽しんでいきましょう!!

学がっどい

身体調和支援

12/4(木)
14:00~

定員14組程度

生活しやすい体、気持ちよく体を動かせるよう、体の緊張(筋肉や関節の緊張)をゆるめゆるめするようなマッサージを学んでみませんか。日々の中で、子どもたちであげられるのがいいですね。

講師 伊藤純子 SUAマスタートレーナー
参加費 100円持ち物 バスタオル、ハンドタオル
ハンカチ(タオル生地NG)、普段使っているオイル

2025年 12月の予定

予約して下さい!!

日	月	火	水	木	金	土
			0歳	1・2・3歳		
	1	2	3	4	5	6
	園庭開放	たんぽぽ③	am 庭あそび pmふれあいあそび	am 庭あそび pm 身体調和支援	さんぽ	園庭開放
7	8	9	10	11	12	13
	園庭開放	たんぽぽ④	am-pmともに クリスマス飾り作り	クリスマス 飾り作り	クリスマス 飾り作り	園庭開放
14	15	16	17	18	19	20
	園庭開放	たんぽぽ⑤	am-pmともに クリスマス会	庭あそび	クリスマス会	園庭開放
21	22	23	24	25	26	27
	園庭開放	たんぽぽ⑥	amリズム誕生会 pm体操・計測	リズム 誕生会	年末休み	12/26~
28	29	30	31			
		年末休み 12/26~				

水曜日は這える子はamへ、まだ這わない子はpmへ遊びに来てね!

※広場の活動については、予定が急遽変更になる場合があります。HPも見てね。

高崎市倉賀野町194

おひさま倉賀野保育園

HP QRコード

TEL(027)347-0441

(子育て支援センター)

(027)346-3899 (保育園)

http://ohisamakuragano@gmail.com

クリスマス食卓作り

12/10・11・12
(am/pm)今年は、紙皿を使ってリース作りをします。材料費50円
かかります。予約して下さい!!

クリスマス会

12/17(水)・19(金)
(am/pm)みなで、クリスマス会
で楽しみましょう!! こんな得技
あります。というお母さん、お父さん
是非声かけて下さい。予約して下さい!!

◆年齢ごとの広場

午前の活動(水~金)

9:30~11:30

午後の活動(水)

13:30~15:30

◆ランチタイム

(水~金)広場終了後

11:15~12:15

おにぎりやお弁当を作って持ってきてね。
(車は園庭前の砂利の駐車場の枠取りに停めてくだ
さい。門に遠い方から停めてくださいね。)

◆園庭開放(月~土) 9:30~11:30

※利用者名簿等記入(センターの掲示板へ)

◆オープンフロア(活動のない月火木金)

9:30~11:30

14:00~15:30

◆電話相談(月~金)

13:00~16:00

◎持ち物◎

帽子、着替え、タオル(水曜PMはバスタオル)

名札(初回配布)、おむつ替えシート、

お茶(ジュースは持っていないでね)等

まゆ玉作り

1/7(水)

am... 水(am)・木・金対象
pm... 水(pm)対象今年は、どんど焼き
が木曜日となったので、
水曜日に参加したい人が集まるようにします!!
まゆ玉は、豊作や商売繁盛などを願う小正月の
縁起物。まゆ玉は、丸めてゆでたものを木の
枝に食ひ、乾いたものをどんど焼きで焼いて
食べます。火薬に当たると無病息災や家内
安全を願います。(水)は、できたてほやほやの
まゆ玉の試食も予定しています。
持ち物... エプロン・三角巾、マスク(親子共)
材料費 100円
※ 爪の長い人は、切ってきてね。
予約して下さい!!

女王様さんの広場

1/19(月) 14:00~
19:30おしゃべりしたり、
保育園のおやつを試食したり...
出産前に子育て支援センターで
どんなところだろう?と足を運んで
みませんか? 1/15(木)までに
予約して下さい。

どんど焼き

1/8(木)

9:30頃
点火もち米を育てた田んぼ
で行います。雨天や強風の場合
翌日行う可能性もあります。
どんど焼きの日は、全年齢対象
(にします。(ランチタイムなしです。))
親子で田んぼにのりこたい人は、
長靴等汚れてもいい準備をして
おいで下さいね。また全園児が
集まる、馬車道3時(は、いつも
以上に気をつけて頂けるとありがた
いです。※ベビーカーは、広場の方において
して下さい。(通所所が来い義)お休みの日...?
1/15(木)休み??感染症ではない風邪の場合解熱後
1日は、様子を見よう。インフルエンザの場合
は、発症日を0日とし、翌日から数えて5日を経
過するまで、自宅療養となります。発熱時に時間が
がかるほど、辛い場合は、解熱した翌日から
数えて3日も経過するまで
自宅療養となります。

2026年 1月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			0歳	1・2・3歳		
				1	2	3
					~ 1/4年始休み	
4	5	6	7	8	9	10
	園庭開放	園庭開放	am-pmともに まゆ玉作り	どんど焼き	さんぽ	園庭開放
11	12	13	14	15	16	17
	成人の日	たんぽぽ①	am室内あそび pmふれあいあそび	庭あそび	室内あそび	園庭開放
18	19	20	21	22	23	24
	園庭開放	たんぽぽ②	amリズム誕生会 pm計測・ティータイム	園行事の為 お休み	リズム 誕生会	園庭開放
25	26	27	28	29	30	31
	園庭開放	たんぽぽ③	am-pmともに 鬼作り・豆まき	庭あそび	鬼作り 豆まきごっこ	園庭開放

全年齢対象 園庭開放(月~土) 9:30~11:30

土曜日はお庭にいる職員に声をかけてね。

サンタを信じる 大切な力

「サンタクロースって本当にいるの？」と子どもに聞かれたら、どう答えますか。
「もちろんいるよ」と迷わず答えるために、「うきこちゃん」シリーズなどの翻訳で知られる児童文学者・松岡享子さん(84)を訪ねました。

—サンタを楽しみにしている4歳の娘が、最近「サンタさんはなぜ良い子にしているかわかるの」と聞いてきます。

「うちには煙突がないのにどうやって入ってこられるの」といったことを子どもは尋ねてくるものです。そういう時は「サンタさんは特別な人だからできるのよ」と話してあげるのがよいでしょう。

クリスマスプレゼントも、子どもが欲しいものと大人があげたいものが違う時は、サンタがなぜこのプレゼントを選んだのかを書いた手紙を添えるのもよいと思います。

—「子どもにウソを教えている」と考えてしまう大人もいるようです。

子どもがサンタを信じているのであれば、できるだけ長い間信じていられるように大人が頑張らないといけないと思っています。子どもの夢を大切にすることは大事なこととは違ふと思えますよ。

生き延びる基本

—松岡さんは1973年、朝日新聞に寄稿したエッセーで、子どもがサンタの存在を信じることの大切さを説きました。

目に見えないものを信じるという心の働きが、人間にとってどんなに大切か。サンタの存在は、その人の中に信じるという能力を養います。この考えは今でも変わっていませんが、確信を持てるようになったことがあります。

それは、子どもは本当に空想することができるということです。大人にはできません。



イラスト・田中 和

ん。天賦の力で、大人になるにつれて失っていく力です。非科学的と思うかもしれませんが、科学的にだって空想することは必要です。目に見えない結果を想像できるから実現しようと思う。詩人や作家なら不可欠な力でしょう。最近、戦時中に子ども時代を一緒に過ごした友人と話して気づいたことがあります。食べ物がなくて、空腹で街が焼けるのを見たとか、大人から見ればつらい現実の中でも、子どもたちは日々何かしら楽しいことを見つけて生活していました。

スかもしれないですね。
本が夢をたらしめる
—子どもの心の力を育てるために大人ができることは他にありませんか。
サンタでなくても、妖精や魔法使い、鬼でも何でもよいんです。私が米国の図書館で働いていた時、お話会によくきてくれる女の子がいまして。その子は住む家がなくて、他人の家のガレージに住んで公園の水道で顔を洗うような生活を送っていたんですね。昔話の中にはお姫様がいっぱい出てくるでしょう？ その子は同僚のところにきて「私、大きくなったらプリンセスになる」と言ったそうなんです。物語を読んでいたもので、現実を打ちひしがれず、夢を見る力を持つことができた。本や物語は、見えない存在を信じる力を育てるのにとっても大切です。サンタのお話に限らず色々な本を読んであげて下さい。(聞き手・日高泰緒)

松岡 享子さんの代表作

- 「くまのハロウィン」(福音館書店)
- 「おせすみはさい フランシス」(福音館書店)
- 「番ねずみのヤカちゃん」(福音館書店)
- 「ものくさトミー」(岩波書店)
- 「しろいさぎとくろいさぎ」(福音館書店)
- 「くまのコーレテン」(偕成社)

サンタさんが来るのを楽しみにしている子どもの表情って、とてもキラキラしていますよね。その子どもの姿に、俄然、やる気にはるお父さん、お母さんも少なくな「ふいしょう。いつ時代か子どもは楽しいにせよびつ。想像の世界と現実の自分とを重ね合わせて、夢と期待をふくらませていくんですね。いつかは気づいてしまう現実もあったり、壁にぶち当たるともあると思います。でも、目に見えないものを信じる力があるからこそ、「あんなふうにになりたい!」「できるようにになりたい!」と、自分を奮立たせたり、夢に向かって努力することにも繋がっていくんですね。

冬の系本 紹介

- 「クリスマスのふしぎな話」(福音館書店)
- 「サンタクロースって何でしょう?」(偕成社)
- 「つららが」(福音館書店)
- 「おおきいこさむ」(偕成社)
- 「ちいちゃんとゆきだるま」(ホビオ出版)

大人にもおススメ